

展示室以外でも探してみよう!

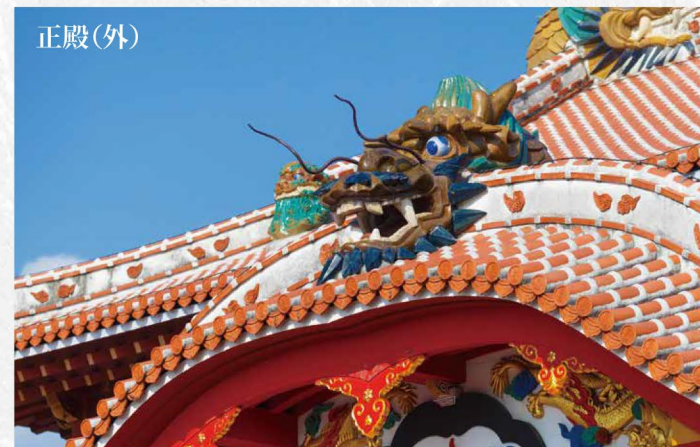
動物に出会えるのは、展示室の中だけではありません。正殿の中や園内にも動物たちがいます。正殿の入り口や屋根、御差床の柱や梁には龍の姿を見ることができます。正殿だけでも実に33体もの龍が存在しているのです。また園内では、石で造られた獅子が門の側に鎮座しています。災いを退け、首里城と訪れる人びとの安全を守っているのではないのでしょうか。



首里城正殿2階 御差床



歓会門の石獅子



正殿(外)

首里城公園企画展

琉球 美の動物園

～琉球人が描いた生き物たち～

南殿特別展示室 2018年7月6日(金)～10月4日(木)
黄金御殿特別展示室 2018年7月6日(金)～10月11日(木)

*会期中、一部展示替えを行います

アクセス

1. 路線バス

- 市内線 ① ⑭ ⑰ 番・市外線 ④⑥ 番に乗り、首里城公園入口のバス停にて下車、徒歩約5分で守礼門に到着。
- 首里城下町線 ⑦ ⑧ 番に乗り、首里城前にて下車。徒歩1分で守礼門前に到着。
- 市内線 ⑨ ⑬ 番・市外線 ②⑤ ③⑦ 番に乗り、山川バス停にて下車、徒歩15分で守礼門に到着。

2. 観光バス・乗用車・タクシー

バス・乗用車・タクシーは、首里社館(首里城公園レストセンター)地下駐車場にゆとりがある場合、係員の誘導により駐車することができます。

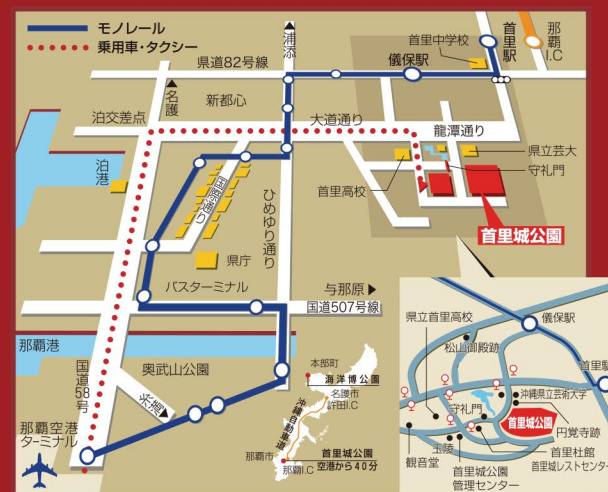
■首里社館駐車場ご利用料金 ■首里社館駐車場開館時間

- 大型バス 960円 (回数券11回分9,600円)
- 小型車 320円 (回数券11回分3,200円)
- 4月～6月 8:00～20:00
- 7月～9月 8:00～21:00
- 10月～11月 8:00～20:00
- 12月～3月 8:00～19:00

※尚、駐車場の予約は修学旅行団体に限ります。(バスのみ)

3. モノレール(ゆいレール)

首里駅または儀保駅にて下車。徒歩約15分で守礼門に到着。



ご利用案内

■入館料金 ※車イスでもご覧いただけます。

	大人	中人 (高校生)	小人 (小・中学生)	6歳未満
一般	820円	620円	310円	無料
団体	660円	490円	250円	
年間パスポート	1,640円	1,240円	620円	

●正殿、南殿・番所、書院・鎖之間、黄金御殿・寄瀨・近習詰所、奥書院、北殿、奉神門のある区域は有料ですが、それ以外の場所への入園は無料となります。

●団体は20名様以上

●モノレール(愛称:ゆいレール)のフリー乗車券(一日券・二日券)をご利用中のお客様は、首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により、団体料金の適用となります。

※フリー乗車券の有効期限内において、1枚につきお一人様1回限りの割引となります。

■開館時間

- 4月～6月(8:30～19:00) 入館券販売締切 18:30
- 7月～8月(8:30～20:00) 入館券販売締切 19:30
- 10月～11月(8:30～19:00) 入館券販売締切 18:30
- 12月～3月(8:30～18:00) 入館券販売締切 17:30

■休館日

- 7月の第一水曜日とその翌日

お問い合わせ
首里城公園管理センター

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地
TEL098-886-2020(代) FAX098-886-2022
<http://oki-park.jp/shurijo/>



「琉球・美の動物園」へようこそ

琉球王国時代に首里城を彩り、王族や士族の生活を豊かにしていた美術工芸品には、さまざまな文様が入り入れられています。色鮮やかな花や植物、流れる水や雲等の自然現象と共に、生き生きとした動物の姿が表されています。身近にいた動物を描いた作品もあれば、伝説的な想像上の生き物を描いて、琉球王国時代の人びとの願いや祈りを表したものもあります。それらは現代のわたし達に、往時の人びとが動物に注いだ眼差しを伝えています。

今回の企画展では「琉球 美の動物園 ～琉球人が描いた生き物たち～」と題して、南殿特別展示室と黄金御殿特別展示室の両方で、美術工芸品に描かれた動物に着目した展示会を開催します。

鳥



しだれざくら
枝垂桜のあいだに見えるのは何でしょう？鳥が空を飛んでいる姿は、今も昔も人びとにとって憧れや自由の象徴なのかもしれません。

ちよま あさじ くもとり まつしだれざくらつばめもんよう びんがたいしょう
苧麻浅地雲取に松枝垂桜燕文様紅型衣裳

栗鼠



リスはブドウとセットで登場します。いくつも実をつけるブドウと子どもをよく産むとされるリスに、しあわせがたくさんありますように、との願いが込められています。



くろうるしぶどう りす ほくえ じきろう
黒漆葡萄栗鼠箔絵食籠

鳳凰

ゴージャスな羽や尾が特徴的で、雌雄セットで描かれている鳳凰。どんな印象を受けますか？鳳凰は王さまが使うものによく描かれています。



りよくうるし ぼたん ほうおう ちんきんかく ぼん
緑漆牡丹鳳凰沈金角盆

獅子

獅子は今でも家や地域の守り神として、いろんなところで目にします。漆器の螺鈿という技法を使って作られたこの獅子は、キラキラ系で、普段目にする石や陶器でできた獅子とはちょっと違うかもしれません。



くろうるし しし らでん ちゅうおうじよく
黒漆獅子螺鈿中央卓

見たことある？ 見たことない？

場所 南殿特別展示室

実在する「鳥」「栗鼠」「猫」「虎」4種の動物をモチーフにした、絵画や染織衣裳、漆器等を紹介します。

国の平安と幸福を象徴するもの

場所 黄金御殿特別展示室

「鳳凰」「龍」「獅子」「白澤」という想像上の伝説的な生き物を展示します。

猫

今も昔も猫ブーム?!琉球王国時代に猫を描いた作品は、現代にも大事に伝えられているものがあります。この『神猫図』は今回が初公開。写真でしか残っていない、殷元良という絵師が描いたとされる作品ととてもよく似ています。

初公開

神猫図

作者:武永寧



虎

ぐっと何かを睨んで体も大きく描かれ威嚇しているかのようにも見えるけど、どこか愛らしい感じもませんか？現代では虎を見ることができると、昔の人は見たことがあったのかな。

虎之図

作者:鄭元観



龍

首里城には龍がいっぱい。どこにいるのか、目をこらして探してみてください。着物や絵画を超えて、あなたの目の前に飛び出てくるかも。



もめん しろじ ゆきわきくいなすま
木綿白地雪輪菊稲妻に
龍の丸文様両面紅型衣裳



白澤

人間?動物?これはなんだろう?目がいくつあるかな?背中から生えているのは何だろう?「白澤」はいろんなことを知っていて、人間のこともわかるそうです。

白澤之図(複製)

原資料作者:
じりょう ぐすくませいほう
自了(城間清豊)

